

# 総 括 評 価 表

自己評価		評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策				
重点課題	重点目標	評価指標（と活動計画）		学校関係者の意見					
III あいさつ、ことばづかい、礼儀作法、時間やマナーを守る態度と好ましい人間関係を育成し、看護師として必要な資質の向上を図る。	《全校レベル》 基本的生活習慣の確立を目指し、あいさつの励行や望ましいことばづかいや態度、マナーを身に付けさせ、習慣化を図る。 《下位組織レベル》 ①毎学期の生活目標を持たせ、主体的に行動できるようにする。[各HR担任、生徒指導課] ②「服装・マナーアップ週間」を設定し、頭髪服装指導に取り組むとともに、相手や場に応じた言葉遣い礼儀挨拶マナーについて自己評価させ、適切に対応できるように指導する。[環境保健渉外課、生徒指導課] ③生徒会や生活委員等に挨拶運動を積極的に展開する。[生徒指導課、特別活動課] ④いじめの未然防止早期発見に努める。[生徒指導課] ⑤防災教育の充実を図り、災害から身を守り、自らの安全を確保するための行動が出来る能力を育成する。[環境保健渉外課]	評価指標	①学期目標の自己評価の「できた」が平均80%以上。 ②各学年で、毎月服装指導を実施し、頭髪・服装指導を受ける生徒が5%以内。 ③基本的な挨拶がきちんと出来る生徒が、90%以上。 ④適切な応対ができ敬語が使える生徒が90%以上。 ⑤自主・自律的に身だしなみについて考え、行動できた自己評価した生徒が90%以上。 ⑥いじめに関して相談があった場合は、すみやかに対応する。 ⑦スクールカウンセラーを毎月1回配置し、生徒の悩み等の支援体制を整備する。 ⑧防災訓練を年2回行い、生徒全員が避難行動が行える。	総合評価	総合評価はBであるが、生徒は社会人になるための発展途上の段階にある。出来るというより、社会に出るまでに出来るようになるために、その過程を教員が支援することが重要であり、その支援は活動計画に示されているとおり、しっかりと実施されている。 病める人々の対象とし、命にかかわる医療現場では、高校生といえども、患者・臨床現場からの要求が大きい。そういった環境において、成長の過程で悩みを持つ学生も多いが、相談相手として、教科やクラス担任とは別に、養護教諭を配置すべきである。もちろん看護教員は医学、カウンセリングの素養は持ち合わせており、悩み相談にも応じるが、一方で成績評価者であり、養護教諭のように無批判に生徒を受け入れることができる立場にはない。また、スクールカウンセラーは配置されているが、月1回の訪問であり、日常的に対応することはできない。	生徒全員があいさつや言葉遣い、社会人としてのマナーを身につけようとしている。生徒は成長発達過程であることを認識し、5年間を通して支援・指導をしていく。 今後は心豊かな人間性を高めるための取組を強化していく。			
		活動計画	生徒指導やマナー指導について、全教職員で共通理解のもと、協力して取り組む。 ① HR担任と教科担任は、始業のチャイム時には教室にいるようにする。 ② HR活動のテーマに、「服装」「頭髪」「礼儀」「マナー」等を取り上げ、意識の向上や強化に努めるとともに、実践力の向上を図る。 ③遅刻回数や欠席回数の月別累積を集計し、結果をもとに生徒を励ます。 ④教科担任は、チャイムとともに授業を開始し、授業終了時には次回の授業内容を明確にする。 ⑤教師同士の朝夕のあいさつをしっかりと行う。生徒にも教師側からあいさつを大きな声で行い、生徒の意識を高める。生徒会役員や生活委員による「あいさつ運動」を実施する。 ⑥職員室は外部社会と想定させ、礼儀やことばづかいの指導を徹底する。 ⑦専攻科においては、社会人としての身だしなみやマナーについて考える時間を設定する。 ⑧いじめに関するアンケート調査を実施する。	評価指標による達成度			①月目標の達成は年間平均82.5%であった。 A ②毎月の頭髪・服装指導で不備を指摘された生徒は、全体を平均すると10.8%であった。そのほとんどは、爪が伸びている生徒であった。 B ③「あいさつができていないのは95%であった。 A ④「適切なことばづかいができていない」生徒は88.2%であった。 A ⑤「身だしなみはきちんとしている」と答えた生徒は95.9%であった。 A ⑥友人関係に関する相談が2学期に2件あった。管理職、生徒指導課、学年で情報を共有し、聞き取り等の対応を行った。現在2件とも問題のない状態に改善し、生徒は元気に登校しているが引き続き様子を見守っている。 B ⑦毎回受けている生徒がいる。また、状況に応じて、カウンセリングを受ける生徒が、数人いる。 A ⑧年間6回の防災訓練、3回の講演会を実施した。11月に地域の自主防自衛隊等11団体の合同避難訓練を実施した。 A	活動計画による実施状況	職員会議で協議し、生徒指導課が中心となり全教職員の共通理解のもとで取り組んだ。 ①授業評価において「始まりと終わりのチャイムは守られていますか」に対して学校全体で98.2%が「かなり良い」と「まあ良い」と評価している。 ②毎月始めに各学年で服装・頭髪チェックを実施している。2年次の臨地実習前11月にマナー講習会を開催し、実践力の向上を図っている。 ③各学年とも遅刻・欠席が多い生徒が数名いる。 ④チャイムとともに授業は開始できている。次回の授業内容を明確にすることにより予習に繋げている。 ③街頭指導時を年間5回実施した。生徒会役員による「あいさつ運動」により自主的なあいさつ・声かけに繋がった。 ⑥職員室入室時のマナーについて教員間で共通理解のもと、指導を行っている。 ⑦機会を捉えて社会人としての身だしなみやマナーを考える働きかけをした。(専攻科) ⑧7月と11月にいじめに関するアンケート調査を実施した。いじめに繋がる事案はなかった。